

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成31年1月11日

【四半期会計期間】 第34期第3四半期（自平成30年9月1日至平成30年11月30日）

【会社名】 株式会社メディカルー光

【英訳名】 Medical Ikkou Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 南野 利久

【本店の所在の場所】 三重県津市西丸之内36番25号

【電話番号】 059 - 226 - 1193（代表）

【事務連絡者氏名】 代表取締役専務取締役管理本部長 櫻井 利治

【最寄りの連絡場所】 三重県津市西丸之内36番25号

【電話番号】 059 - 226 - 1193（代表）

【事務連絡者氏名】 代表取締役専務取締役管理本部長 櫻井 利治

【縦覧に供する場所】 株式会社メディカルー光 東京支店
（東京都港区六本木一丁目4番5号 アークヒルズサウスタワー3階）
株式会社東京証券取引所
（東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第33期 第3四半期 連結累計期間	第34期 第3四半期 連結累計期間	第33期
会計期間	自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日	自 平成30年3月1日 至 平成30年11月30日	自 平成29年3月1日 至 平成30年2月28日
売上高 (千円)	23,158,466	23,404,189	30,914,968
経常利益 (千円)	1,124,545	752,268	1,384,142
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	1,051,232	602,700	1,238,263
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,282,845	418,300	1,358,533
純資産額 (千円)	9,225,019	9,485,036	9,300,708
総資産額 (千円)	26,823,157	26,581,008	25,723,792
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	548.63	314.57	646.24
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	34.4	35.7	36.2

回次	第33期 第3四半期 連結会計期間	第34期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成29年9月1日 至 平成29年11月30日	自 平成30年9月1日 至 平成30年11月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	149.37	113.08

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、次のとおりであります。

(調剤薬局事業)

当社は、平成30年3月1日付で株式会社エファアの全株式を取得し子会社としております。

(不動産事業)

株式会社メディスナー光は、平成30年3月1日付で当社を存続会社として合併いたしました。

この結果、平成30年11月30日現在では、当社グループは、当社、連結子会社11社及びその他の関係会社1社により構成されております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用情勢の改善が進むなか個人消費においても持ち直しの動きがみられ、景気は緩やかな回復基調にあります。

平成30年4月に調剤報酬改定および薬価改定が実施され、チェーン薬局や特定の医療機関からの処方箋集中率が高い薬局の調剤報酬が引き下げられた結果、当社の収益に大きく影響を及ぼしました。

このような事業環境のもと、当社グループは、地域社会から信頼される「かかりつけ薬剤師・薬局」の機能を一層高め、処方箋の応需をさらに推進するなど収益確保に取り組んでおります。ヘルスケア事業におきましては、介護サービス利用者の増加に伴い、安定的な介護人材の確保および介護サービスの質の向上に取り組んでおります。

また、当社グループは、来期に持株会社体制へ移行することを決議し組織再編に向けた準備を進めており、「良質の医療・介護サービスをより多くの人に提供する」という理念のもと、さらなる成長と企業価値の向上に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高23,404百万円(前年同期比1.1%増)、営業利益743百万円(前年同期比36.2%減)、経常利益752百万円(前年同期比33.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益602百万円(前年同期比42.7%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、新規開局した店舗および3月にグループ化した子会社が寄与し増収となりましたが、平成30年4月の調剤報酬改定および薬価改定の影響を大きく受け減益となりました。当第3四半期末における当社グループの調剤薬局は合計95店舗となっております。この結果、売上高は16,844百万円(前年同期比0.1%増)、営業利益1,027百万円(前年同期比21.6%減)となりました。

ヘルスケア事業

ヘルスケア事業におきましては、平成30年4月に開設した介護付有料老人ホーム「ハーモニーハウス甲賀」(滋賀県)を中心に、有料老人ホームの継続的な入居者確保を推進した結果、増収となりましたが、新規施設にかかる初期費用の発生などにより減益となりました。当第3四半期末における当社グループの居住系介護施設は27施設、996床となっております。この結果、売上高4,595百万円(前年同期比3.3%増)、営業利益216百万円(前年同期比26.4%減)となりました。

医薬品卸事業

医薬品卸事業におきましては、積極的な営業活動により売上高は伸長しましたが、平成30年4月に実施された薬価改定や価格競争の激化などにより減益となりました。この結果、売上高1,869百万円(前年同期比4.8%増)、営業利益42百万円(前年同期比52.2%減)となりました。(内部売上を含む売上高は2,526百万円となり、前年同期比で4.4%増加しました。)

不動産事業

不動産事業におきましては、賃貸不動産からの収入によって、売上高95百万円(前年同期比0.5%減)、営業利益32百万円(前年同期比37.8%減)となりました。

また、投資事業におきましては、投資有価証券売却損益221百万円を計上しております。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	6,000,000
計	6,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成30年11月30日)	提出日現在発行数(株) (平成31年1月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,035,000	2,035,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	2,035,000	2,035,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成30年9月1日～ 平成30年11月30日		2,035,000		917,000		837,050

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成30年8月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

平成30年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 118,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,915,900	19,159	
単元未満株式	普通株式 200		
発行済株式総数	2,035,000		
総株主の議決権		19,159	

【自己株式等】

平成30年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社メディカルー光	三重県津市西丸之内36番25号	118,900		118,900	5.84
計		118,900		118,900	5.84

(注) 当第3四半期会計期間における自己株式の取得により、当第3四半期会計期間末日現在の自己株式は128,817株となっております。

2 【役員 の 状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の変動は、次のとおりであります。

(役職の変動)

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
代表取締役常務取締役 薬局事業本部担当 兼 薬局人事部長	代表取締役常務取締役 薬局事業本部長	野間 誠司	平成30年10月1日

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成30年9月1日から平成30年11月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成30年3月1日から平成30年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,655,258	6,098,066
売掛金	4,237,105	4,472,367
商品	1,133,321	1,095,930
その他	655,249	829,038
貸倒引当金	3,717	3,828
流動資産合計	11,677,218	12,491,574
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,293,144	6,642,311
土地	3,015,869	3,139,385
その他(純額)	809,103	455,246
有形固定資産合計	10,118,117	10,236,942
無形固定資産		
のれん	923,671	1,453,621
その他	202,619	190,073
無形固定資産合計	1,126,290	1,643,694
投資その他の資産		
投資有価証券	1,510,106	955,642
敷金及び保証金	794,683	761,832
その他	497,375	491,320
投資その他の資産合計	2,802,166	2,208,795
固定資産合計	14,046,573	14,089,433
資産合計	25,723,792	26,581,008
負債の部		
流動負債		
支払手形	28,557	30,556
買掛金	3,383,300	3,940,443
短期借入金	20,000	81,000
1年内返済予定の長期借入金	3,687,704	3,238,279
未払法人税等	515,273	153,326
賞与引当金	213,924	12,887
その他	937,024	1,070,132
流動負債合計	8,785,783	8,526,626
固定負債		
長期借入金	6,331,502	7,336,756
リース債務	333,548	309,425
退職給付に係る負債	505,644	545,793
その他	466,605	377,370
固定負債合計	7,637,300	8,569,344
負債合計	16,423,083	17,095,971

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	837,050	837,050
利益剰余金	7,364,596	7,814,010
自己株式	199,317	280,002
株主資本合計	8,919,329	9,288,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	379,600	196,534
退職給付に係る調整累計額	1,778	444
その他の包括利益累計額合計	381,378	196,978
純資産合計	9,300,708	9,485,036
負債純資産合計	25,723,792	26,581,008

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
売上高	23,158,466	23,404,189
売上原価	20,441,306	20,987,651
売上総利益	2,717,159	2,416,538
販売費及び一般管理費	1,552,998	1,673,247
営業利益	1,164,161	743,290
営業外収益		
受取利息	954	890
受取配当金	16,241	13,047
助成金収入	12,701	16,036
寄付金収入	-	12,583
その他	21,726	18,584
営業外収益合計	51,622	61,141
営業外費用		
支払利息	53,886	47,716
売買有価証券運用損	8,724	837
その他	28,627	3,609
営業外費用合計	91,239	52,163
経常利益	1,124,545	752,268
特別利益		
固定資産売却益	-	233
投資有価証券売却益	112,080	221,980
補助金収入	5,120	44,032
保険解約返戻金	-	13,278
投資その他の資産売却益	418,241	-
特別利益合計	535,441	279,524
特別損失		
固定資産売却損	8,592	-
固定資産除却損	479	10,112
固定資産圧縮損	5,120	44,032
投資有価証券売却損	5,063	116
賃貸借契約解約損	2,000	1,262
特別損失合計	21,255	55,523
税金等調整前四半期純利益	1,638,731	976,270
法人税、住民税及び事業税	675,670	406,050
法人税等調整額	88,172	32,479
法人税等合計	587,498	373,570
四半期純利益	1,051,232	602,700
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,051,232	602,700

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
四半期純利益	1,051,232	602,700
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	236,457	183,066
退職給付に係る調整額	4,845	1,333
その他の包括利益合計	231,612	184,400
四半期包括利益	1,282,845	418,300
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,282,845	418,300

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、連結子会社であった株式会社メディシー光は当社と合併したため連結の範囲から除外しております。また、新たに子会社となった株式会社エファールを連結の範囲に含めております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
減価償却費	467,607千円	488,746千円
のれんの償却額	115,715千円	143,929千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年2月22日 取締役会	普通株式	76,643	40.00	平成29年2月28日	平成29年5月1日	利益剰余金
平成29年9月20日 取締役会	普通株式	76,643	40.00	平成29年8月31日	平成29年11月2日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成30年3月27日 取締役会	普通株式	76,643	40.00	平成30年2月28日	平成30年5月1日	利益剰余金
平成30年9月19日 取締役会	普通株式	76,643	40.00	平成30年8月31日	平成30年11月2日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,830,162	4,448,251	1,783,711	96,340	23,158,466	-	23,158,466
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	274	637,426	26,700	664,400	664,400	-
計	16,830,162	4,448,526	2,421,137	123,040	23,822,866	664,400	23,158,466
セグメント利益	1,311,526	293,932	88,967	52,851	1,747,278	583,116	1,164,161

(注) 1 セグメント利益の調整額 583,116千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用640,880千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成30年3月1日 至 平成30年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,844,176	4,595,127	1,869,016	95,869	23,404,189	-	23,404,189
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	274	657,729	2,400	660,403	660,403	-
計	16,844,176	4,595,401	2,526,745	98,269	24,064,593	660,403	23,404,189
セグメント利益	1,027,782	216,377	42,567	32,872	1,319,599	576,309	743,290

(注) 1 セグメント利益の調整額 576,309千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用625,674千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
1株当たり四半期純利益金額	548円63銭	314円57銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	1,051,232	602,700
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	1,051,232	602,700
普通株式の期中平均株式数(株)	1,916,083	1,915,939

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

平成30年9月19日開催の取締役会において、平成30年8月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	76,643千円
1株当たりの金額	40円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成30年11月2日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成31年 1月10日

株式会社メディカルー光
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 原 田 誠 司 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 増 見 彰 則 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社メディカルー光の平成30年3月1日から平成31年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成30年9月1日から平成30年11月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成30年3月1日から平成30年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社メディカルー光及び連結子会社の平成30年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。